

2011年8月23日

報道機関各位<お知らせ>

阪急バス株式会社  
阪急不動産株式会社

ジオシリーズマンション入居者から集めた使用済食用油を使用した  
バイオディーゼル燃料100%バスを運行いたします。

阪急バス株式会社（本社：大阪府豊中市、社長：小津正弘）では、地球温暖化対策の一環として、使用済食用油をリサイクルした100%バイオディーゼル燃料で走るバスを豊中市等で計3台運行しております。

今般、阪急不動産株式会社（本社：大阪市北区、社長：島田隆史）が新規に分譲するジオシリーズマンションに使用済食用油回収BOXを設置し、ジオの入居者から集められた使用済食用油を100%バイオディーゼル燃料に精製し、阪急バスの車両に使用することで入居者の環境意識の高揚を図るとともに、リサイクルの推進、CO2削減への環境施策に取り組みます。

バイオディーゼル燃料は、植物性であるため化石燃料と異なり大気中の二酸化炭素を新たに増やさない資源循環型の新燃料で、また酸性雨の原因となる硫黄酸化物（SOx）は発生しません。

阪急バス、阪急不動産は今後も阪急阪神ホールディングスグループの一員として、事業活動や社会貢献活動を通して、地球環境に配慮した持続可能な社会の実現を目指します。

記

1. 運行開始日 2011年9月5日（月）
2. 運行営業所 茨木営業所（茨木市上郡2丁目14番4号）
3. 使用車両 1両
4. 運行路線 茨木美穂ヶ丘線（千里中央～阪大東口～茨木美穂ヶ丘～下井）
5. 使用燃料 バイオディーゼル燃料100%  
（今後竣工するジオシリーズマンションから回収した使用済食用油を精製します。なお、すでに引渡し済のジオシリーズマンションにおいても管理組合に協力を依頼する予定です。）
6. 燃料使用量 約10,000ℓ/年
7. CO2削減効果 年間 約26t-CO2（バイオディーゼル燃料の燃焼により排出された二酸化炭素は本来大気中にあったものを大気に戻しているという考え（カーボンニュートラル）に基づいております）
8. PRについて ホームページに掲載の他、車両外観にラッピングを施します。
9. 精製業者 株式会社レポインターナショナル（本社所在地：京都市）

10. 協 力 阪急阪神ホールディングス株式会社



私たちは、未来へつなぐ  
「環境づくり」と「人づくり」に貢献します。

(今回の取り組みは阪急阪神ホールディングスグループの社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」の一環として取り組むものです。)

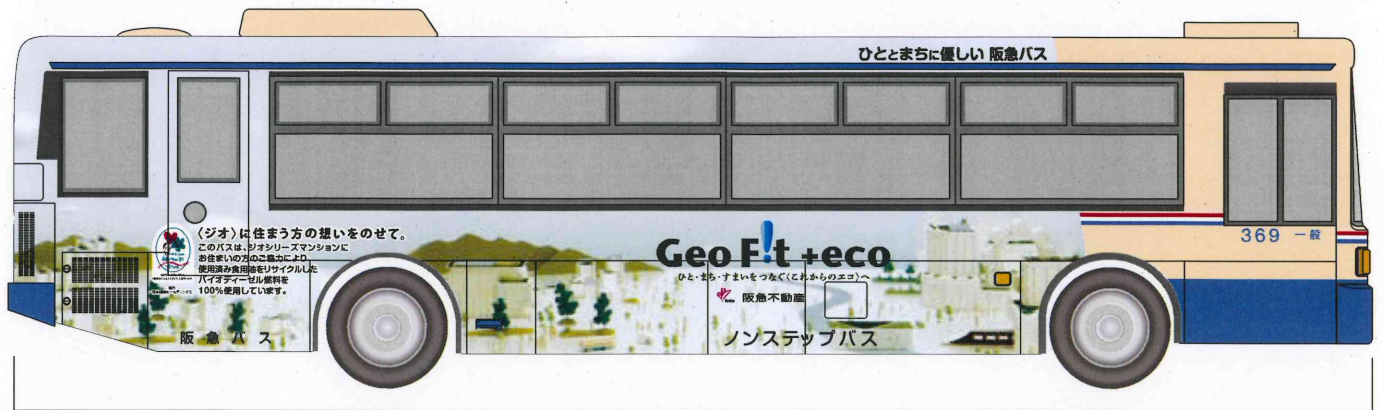
【「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」ホームページ】

<http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/>

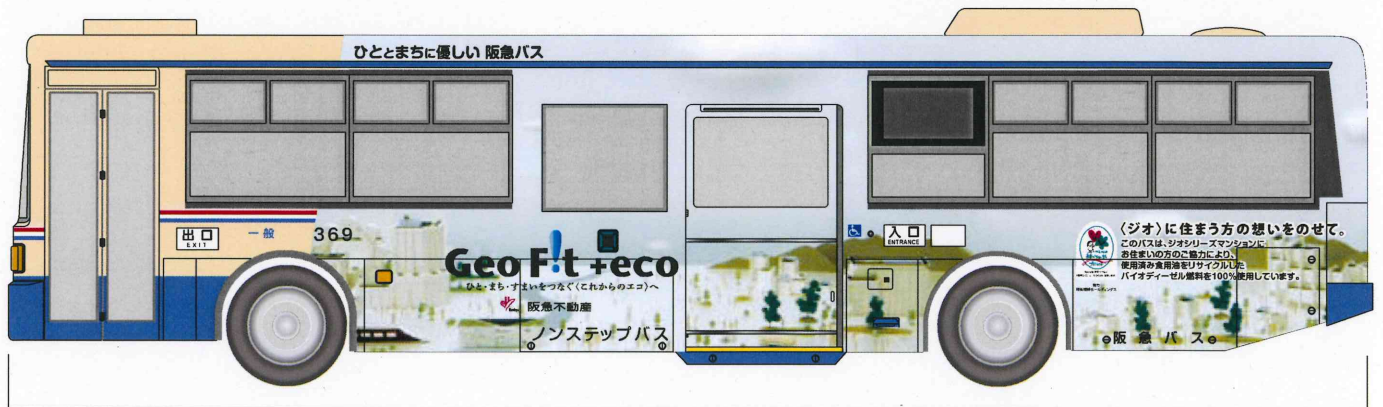
以 上

<資料ご提供先> 青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、大阪建設記者クラブ、北摂記者クラブ

(別紙) ラッピングバス イメージ写真



10500



10500



2250